

川小3Eプロジェクト - Everyone・Enjoy・Easy -

拠点校・協力校英語授業改善プログラムの活用

湯沢市立川連小学校 教諭 佐藤 正徳

本校では拠点校・協力校英語授業改善プログラムの拠点校の指定を受け、研究体制の在り方や協力校を巻き込んだ域内研修を推進するために本プログラムを立ち上げた。

1 本研究のねらい

- (1) 教員の授業力向上
- (2) 協力校との連携の充実
- (3) 児童の英語による言語活動の増加

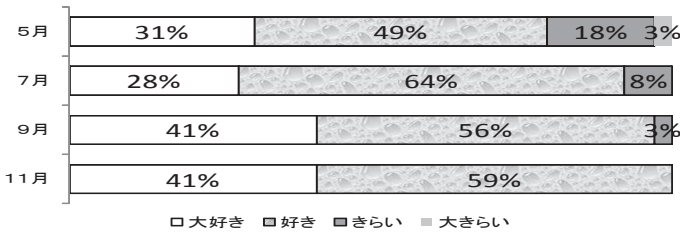
2 具体的な取組

- (1) 実態把握と分析
 - ① 教員アンケート（課題や弱みの分析，成果の確認：2回）
 - ② 児童アンケート（実態把握，成果と課題の分析：4回）
- (2) 学習環境の整備と活用 *全員参加による学習環境づくり（域内全教員による一人一提案）
 - ① 『人的環境の活用』【国際教養大学，県教委，市教委からの指導・助言，中学校教諭・ALTとのTT，高校生との交流】
 - ② 『学習環境の整備』【イングリッシュルームの整備，掲示物・学習カードの作成，民族衣装・英語の絵本の展示】
 - ③ 『イベントの企画』【全校イングリッシュデー，絵本の読み聞かせ，川小夏まつり】
- (3) 職員研修の充実
 - ① 伝達講習会
 - ア 平成28年度外国語活動・英語担当教員指導力向上研修会の報告・模擬授業（3回）
 - ・英語による指示（クラスルームイングリッシュ，単語の提示，多様な練習方法）
 - ・アルファベットに慣れ親しむ活動，絵本の活用，視覚・聴覚・触覚を活かした練習方法
 - ・アルファベットの発音，歌の活用
 - イ 平成27年度外国語活動指導者研修会の伝達研修会（2回）
 - ・英語教育改革実施計画について
 - ・効果的なTT（ALTとHRTの強みを活かした連携）
 - ・ゲームの活用（表現の習得とコミュニケーション能力の育成）
 - ウ 絵本の読み聞かせデモンストレーション12回
 - ② オープンレッスン（域内協力校による授業公開）
 - ア 川連小 5年「好きなものを伝えよう ～ I like apples. ～」
 - イ 三梨小 5年「好きなものを伝えよう ～ I like apples. ～」
 - ウ 皆瀬小 5年「What do you like?」
 - エ 駒形小 5年「What do you like?」
 - オ 稲川中 1年「Unit5 学校の文化祭 What で始まる疑問文など」
 - ③ 公開授業研究会
 - ア 5年生【What do you like?「友達にインタビューしよう」】（指導主事訪問）
 - ・必然性のある学習活動，単元構成の工夫，歌やチャンツの活用
 - イ 6年生【What do you want to be?「夢宣言」をしよう】（指定校訪問Ⅰ）
 - ・4人のALTの有効活用，発展性のある活動（学習発表会）
 - ウ 6年生【Let's go to Italy!友達を旅行にさそおう】（指定校訪問Ⅱ）
 - ・教材や環境の充実，総合的な学習の時間との関連，教師の英語力向上

3 成果の検証

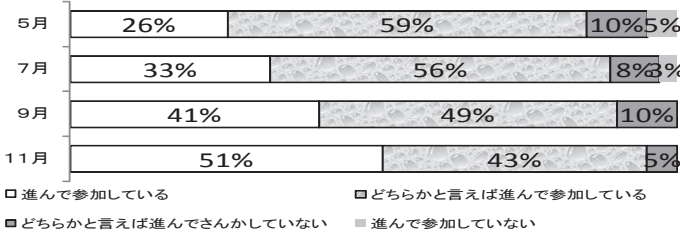
(1) 児童の変容（5月・7月・9月・11月のアンケートより）

① 外国語活動の授業は好きですか。



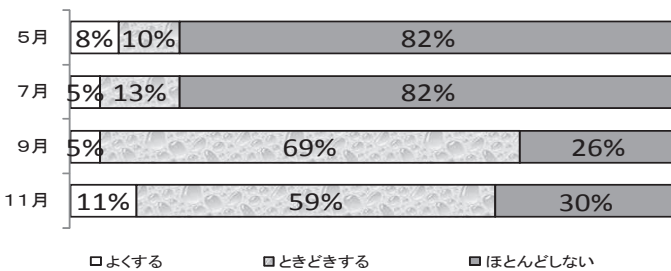
「大好き」が 31 %から 10 ポイント増えて、41 %になった。11月には 100 %の児童が「大好き」「好き」と感じている。授業を通して英語に慣れ、分かる・できることが増えたことで、外国語活動の授業が好きになり、苦手意識がなくなった。

② 外国語活動の授業に進んで参加していますか。



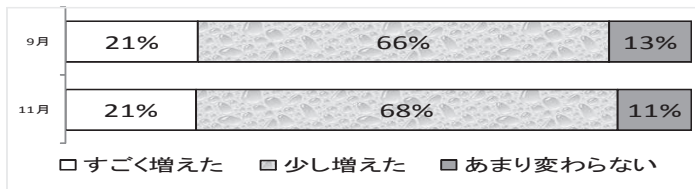
「進んで参加している」が 26 %から 25 ポイント増えて 51 %になった。学習した表現を使って、自分の考えなどを伝えたり、友達のことを知ったりする学習を通して、英語でコミュニケーションを図る楽しさを感じる児童が増えてきた。

③ 授業の他に、英語を話したり聞いたりしますか。



「よくする」「時々する」が 18 %から 52 ポイント増えて、70 %となった。2学期から取り組んでいる毎週木曜日の「English Day」により、英語を耳にしたり、口ずさんだりする機会が増えている。自由記述からは、学校外でも英語を口にする児童が少しずつ増えてきていることが分かる。

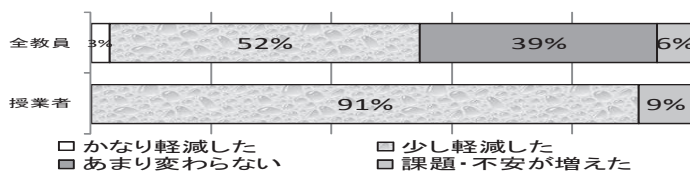
④ 担任の先生は、4月に比べて英語で話す事が増えましたか。*9月から追加した項目



教師が教室英語を中心に、英語の発話量を意識して多くしていることが、児童にも伝わっている。

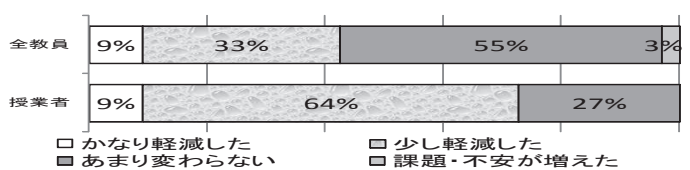
(2) 教師の変容（課題の軽減）

① 指導力・英語力についての課題（弱み・不安）



教師全体の 55 %、授業者の 91 %が指導力・英語力についての課題が軽減したと感じている。研修会やオープンレッスン等が効果的であった。

② ALT との連携についての課題（弱み・不安）



教師全体の 42 %、授業者の 73 %が ALT との連携についての課題が軽減したと感じている。実際に授業を進めながら、ALT とのコミュニケーションをとってきたことが分かる。

本実践により、子どもたちと教員の大きなプラスの変容を見ることができた。

4 年間事業経過

月	取 組 内 容	備考 (外部機関との連携等)
4月	<input type="checkbox"/> 研究指定校等連絡協議会 <input type="checkbox"/> 公開授業研究会の概要の確認 <input type="checkbox"/> 校内研修会・研究組織の確定	県教委・市教委 稲川中ブロック
5月	<input type="checkbox"/> 教員意識調査 (課題・弱みの分析) <input type="checkbox"/> アンケート調査Ⅰ (児童の実態把握) *環境整備Ⅰ (イングリッシュルームの開設) <input type="checkbox"/> 年間指導計画の見直し <input type="checkbox"/> 年間事業計画の確認 (意識調査・アンケート調査の報告) ◇指導力向上研修会Ⅰ ◇拠点校・協力校研修会Ⅰ	拠点校・協力校教員 拠点校 (5・6年生) 域内教員 県教委 教育センター 拠点校・協力校教員
6月	◇校内研修会Ⅰ H27 外国語活動教員研修の伝達Ⅰ *環境整備Ⅱ (域内全教員による一人一提案の具現化) ○域内オープンレッスンⅠ (川連小) ○域内オープンレッスンⅡ (三梨小)	拠点校・協力校教員 拠点校 拠点校・協力校教員 拠点校・協力校教員
7月	◇校内研修会Ⅱ H27 外国語活動教員研修の伝達Ⅱ ◆校内授業研究会 (指導主事訪問) 5年 What do you like? 「友達にインタビューしよう」 <input type="checkbox"/> アンケート調査Ⅱ <input type="checkbox"/> 校内中間評価会Ⅰ ◎川小夏祭り 高校生徒の交流 (英語クイズ等)	拠点校・協力校教員 南教育事務所 市教委 拠点校 (5・6年生) 湯沢高等学校
8月	◇指導力向上研修会Ⅱ ◇拠点校・協力校研修会Ⅱ *環境整備Ⅲ (掲示カード類の作成・絵本コーナーの設置) *英語の絵本の読み聞かせ (英語担当教員)	県教委 教育センター 拠点校・協力校教員
9月	*「English Day」の企画運営 (毎週木曜日) ○域内オープンレッスンⅢ (皆瀬小) ◆公開授業研究会 6年 What do you want to be? 「夢宣言をしよう」 <input type="checkbox"/> アンケート調査Ⅲ ○域内オープンレッスンⅣ (駒形小)	拠点校・協力校教員 国際教養大学 県教委 市教委 ALT 5名 拠点校 (5・6年生) 拠点校・協力校教員
10月	○域内オープンレッスンⅤ (稲川中) <input type="checkbox"/> 校内研修会 (研究の整理と環境整備Ⅳ) <input type="checkbox"/> 研究紀要 (中間報告) の作成	拠点校・協力校教員
11月	◇指導力向上向上研修会Ⅲ ◆公開授業研究会 6年 Let's go to Italy! 「友達を旅行にさそおう」	県教委 教育センター 国際教養大学 県教委 市教委 南管内教員
12月	<input type="checkbox"/> アンケート調査Ⅳ <input type="checkbox"/> 校内中間評価会Ⅲ <input type="checkbox"/> 研究のまとめ (検証 成果と課題)	拠点校 (5・6年生)
1月	◇拠点校・協力校研修会Ⅲ <input type="checkbox"/> 校内最終評価会	域内教員
2月	<input type="checkbox"/> 秋田県教育研究発表会	総合教育センター
3月	<input type="checkbox"/> 研究紀要の発行	

研究推進(拠点校) *慣れ親しみ ◇教師の英語力向上 ○授業改善
 ◎高等学校との交流 ◆公開授業